緑の募金だより 2022 春

皆様から寄せられた大切な「緑の募金」を
国内外での森づくり、人づくりに活用しています。

人々と森林をつなぎ、
森林がもたらす豊かな暮らしを未来につないでいくために、
緑の募金は、地域の人々の身近な緑化活動や
次世代が参加する森林体験活動などの支援に、
大切に活用されています。

里山での竹林整備活動（茨城県）

緑の募金

「緑の募金」の活動は、緑豊かで活力のある、
誰もが安心して暮らせる未来をつくるために SDGs に貢献します！

緑の募金で進めよう SDGs

「市民の命と生活を守る森づくり」をめざして

大阪府堺市
グリーンベイOSAKA

大阪湾に面した埋立地（堺第 7-3 区）は、産業廃棄物最終処理場として、1974 年から 30 年間に渡り廃棄物が埋めれた後、覆土により完成した土地です。
2008 年、グリーンベイ OSAKA は、この地を「共生の森にしよう！」と第 1 回の植樹会の開催を機に活動をスタートし、2021 年 11 月の植樹会までに合計 15 回の植樹会を行い、植樹面積 15,860 ㎡・植樹合計本数 8,854 本となり、順調に森が育っています。また、これらの森は、将来発生が予想される南海トラフを震源とした巨大地震が発生した場合の津波被害を減らす海岸防災林としての役割も期待されています。

写真：大阪港湾局 提供

SDGs グリーンベイOSAKA の緑化活動は、この項目を中心に実践されています。

植林活動には造園の専門家も参加をして、土壌改良をはじめとした造園の知識と技術を活用した森づくりが進められ、関係者も驚く速さで成長しています。またユニット混植方式を行うことで、一般的な植樹より苗木の本数や草刈や間伐などの維持管理コストの削減に役立っています。

3mのサークル内に、さまざまな種類の苗木を植え、草刈などを省力化できるユニット混植方式を実施しています。

廃棄物の埋立地という特殊な土壌でしたが、造園技術を活用した土壌の改良により、造成当初に植樹した苗木は現在 10m 超まで成長し、自然林のような状況になり、タヌキの生息やタカ類のチョウヒの姿も確認されるようになっています。

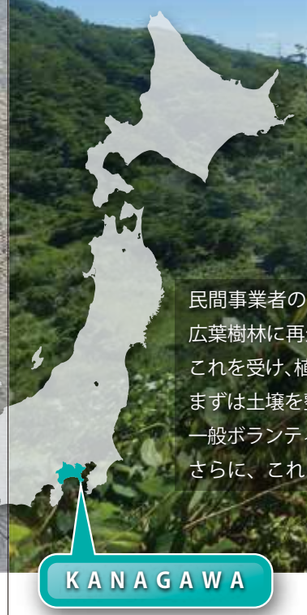
第 15 回グリーンベイ植樹会はコロナ対策の関係から、当初予定の半数の60名のボランティアの参加で開催しました。

緑化活動のなかでも、沿岸部での森づくりは時間が掛かり長期にわたるものですが、この活動を長いスパンで支援してくれている「緑の募金」は、たいへん貴重なものです。今後も地域社会と連携を取り、一人でも多くの市民の方が、この森を訪れ、親しみ、健やかに暮らせる身近な森にすることを目指します。

「荒れた大地の再生と豊かな森林を未来につなぐ人づくり」をめざして

神奈川県横須賀市
一般社団法人Silva

民間事業者の撤退により荒れ地となった 112 ヘクタールにおいて、神奈川県は 2008 年「土地本来に生育する常緑広葉樹林に再生する」こととして、市民による協働参加型の活動をスタートしました。
これを受け、植生復元の専門家である一般社団法人 Silva（シルワ）は、荒廃した土地にいきなり苗木を植えるのではなく、まずは土壌を整備してから木を植えて、森を育てる取組を実践しています。また、年 2 回の植樹会の開催と通年での一般ボランティアの体験参加を受け入れ、森づくりの必要性と大切さを多くの人が体験できる場づくりも行っています。
さらに、これらの活動をつないでいくための次世代育成の人づくりにも力を入れています。



一般社団法人Silvaの緑化活動は、この項目を中心に実践されています。 **SDGs**

植樹地の土壌や植物の出現傾向等の調査や植樹地の水脈改善、土壌の改良を行い、土地に適した樹種の植樹を行っています。

地元の人々が参加する植樹会を継続的に実施したところ、地元の関心も高まり、年々、参加の輪が広がっています。

2017 年 4 月からスタートした「森林再生指導員認定制度」では、森づくりを未来へつなぐための地域のリーダーを育成することを目的に、知識の詰め込みだけでは分からない現場重視の体験型の研修を実施しています。

歴史ある緑の募金の助成を受けていることで、団体の活動自体が社会的信用を得ることができ、活動を対外的に PR する上でたいへん助かっています。

「緑の募金」の活動は、SDGsへの貢献にもつながります！

SDGsとは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

子どもたちを育む自然体験活動を応援！

体験を通じて「私たちの生活において、森林がいかに重要な役割を担っているのか」を知り学んでもらうことを目的に、森や里山での「体験学習」を行っています。

親子参加による竹林整備

小学校での森林環境学習

親子参加による広葉樹の植樹

薪割り体験

2020 年度は、
全国172カ所の
活動を支援しました！

流失した斜面林の復旧作業

海岸防災林の植樹

台風被害地での植樹

大きな被害を受けた被災地域で、防災林等の森林整備や居住地域周辺、学校周辺の緑化を行っています。

自然災害被災地の復旧や緑化を応援！

森づくりのリーダーを育てる活動を応援！

持続可能な森づくりをめざし、だれでも参加できる安全で楽しい森づくりを実施するため、人材育成を行っています。

作業道作設講習

下刈り作業の事前指導

草刈機の安全講習

チェーンソーの安全研修

間伐作業体験

憩いの森の景観整備

里山再生のための植物調査

歩道の整備

竹を利用したベンチづくり

森林の活力を支えるため、植樹や下刈り、間伐などを地域住民とボランティアの人々が一緒になって行っています。

森と人を元気にする活動を応援！

海外での森林保全活動を応援！

海外の森林荒廃が進む地域での環境改善のための植樹活動や地域住民への普及啓発を行うとともに、生活向上のための苗木づくりや苗木の配布などを支援しています。

マリ共和国

西アフリカに位置するマリ共和国の首都バマコ周辺の地域で、森林の再生と保護を目的にした住民たちによる植樹活動を支援しています。

カンボジア王国

カンボジア国コンポンチャム州は、森林密度が非常に低く、洪水や干ばつ等の気候変動の影響を受けやすい地域です。このため、寺院、小学校を中心とした植林活動や森林保全に関するワークショップの開催を支援しています。

2020 年度は、
海外33カ所の活動を支援しました！

「緑の募金」の活動と関係が深いSDGs目標！

緑の募金は、森林荒廃が進む海外での森林環境改善のための植樹活動や地域住民への環境教育を行うと共に、生活向上のための苗づくりなどを支援

緑の募金は、地域のシンボルである樹木や人々が集う森林の保全活動を支援

緑の募金は、子どもたちを育む自然体験活動を支援

緑の募金は、水源地での植樹、保全活動を支援

緑の募金は、持続可能な森づくりに必要な「森づくりリーダー」の人材育成活動を支援

緑の募金は、自然災害被災地域での森林整備や住居地域周辺、学校周辺の緑化活動を支援

緑の募金は、木材活用や森林保全活動での間伐材や伐採竹の再利用を支援

緑の募金は、森林の活力を支えるための植樹活動や下刈り、間伐などの保全活動を支援

緑の募金は、生物多様性の保全につながる森づくりを支援

緑の募金は、学校募金・家庭募金・街頭募金・職場募金・企業募金などによって実施

SDGs達成への貢献に使途を限定した緑の募金「SDGs貢献使途限定募金」を実施しています！

緑の募金では、森林ボランティアによる森林づくり活動や森林・里山の保全、資源の循環的な利用の支援を続けるなか、全国的又は国際的な見地から行われる森林保全・緑化推進活動のうち、SDGs 目標の達成に貢献する活動として、下記のテーマを対象に「SDGs 貢献使途限定募金」を実施しています。

- 安全・安心な生活環境の保全への貢献 SDGs 目標 6 11
- 気候変動対策への貢献 SDGs 目標 7 13
- 生物多様性の保全と回復への貢献 SDGs 目標 14 15

緑の募金の優先寄付先として目標額（資金計画の中の「緑の募金交付金」額の 5 割）が寄せられた事業については、緑の募金交付金により助成支援を行っています。

SDGs 貢献使途限定募金 のながれ

審査の上、春期は 12 月末、秋期は 8 月 10 日までに採用可否を通知します！

年２回（春期・秋期）事業候補の募集
募集期間
春期 11月 1日 ～12月15日
秋期 7月 1日 ～ 7月31日

事業アピールシートの提出
提出期間
春期 1月 1日 ～ 1月20日
秋期 8月10日 ～ 8月20日

採用された応募者は、WEB 上に公開する候補事業のアピール情報をデータで提出！

クラウドファンディング実施
募集期間
春期 2月 1日 ～ 5月31日
秋期 9月 1日 ～10月31日

緑の募金の WEB 上および各実施団体の WEB、SNS 等で候補事業への支援を企業、個人へ呼びかけます！

助成先候補 団体A　助成先候補 団体B　助成先候補 団体C

助成先候補選定

緑の募金
公益社団法人
国土緑化推進機構

情報提供・活動報告 →
← 寄付
領収書発行 →

選択・決定

寄付者

適宜、寄付者への情報提供やイベント案内等を行っています。

← 応募
助成 →
← 情報提供・活動報告

団体B

「緑の募金」では、さまざまな参加方法を実施しています！

「緑の募金」は家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などを行っています。

※募金活動は、コロナ感染予防対策の徹底の下で実施しています。

より一人でも多くの人に参加してもらえるように、日々の生活の中で参加、協力が出来るさまざまな方法を実施しています。

自動販売機で！

緑の募金のマーク付き自動販売機は、販売額に応じて一定割合が募金にあてられます。

写真提供：ダイドードリンコ株式会社

コンビニやスーパーのレジ横で！

レジの横に緑の募金へ協力をする募金箱が置かれています。

写真提供：株式会社ファミリーマート
株式会社ローソン

あなたの家に眠っている「お宝」で！

家庭に眠っている物品（お宝）を受け入れ、査定額が募金となります。

提供：お宝エイド®

スマホの決済アプリで！

みずほ銀行や全国の地方銀行が提携するスマホ決済アプリ J-CoinPay で、いつでも、どこでも、だれでも簡単に行えます。

寄付金付き商品で！

寄付金付き商品を購入すると、その販売価格の一部が募金にあてられます。
食品、衣料品、家電製品、出版物、日用品など協賛商品は多岐にわたります。

写真提供：江崎グリコ株式会社

カード類で！

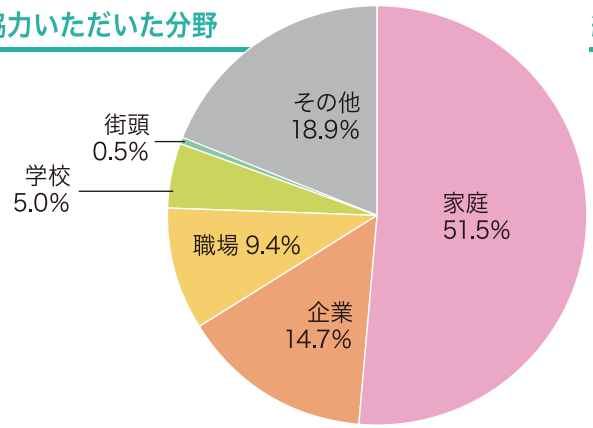
クレジットカードの利用ポイント、クオ・カードの購入額の一部が募金となります。

写真提供：ENEOS 株式会社
株式会社クオカード

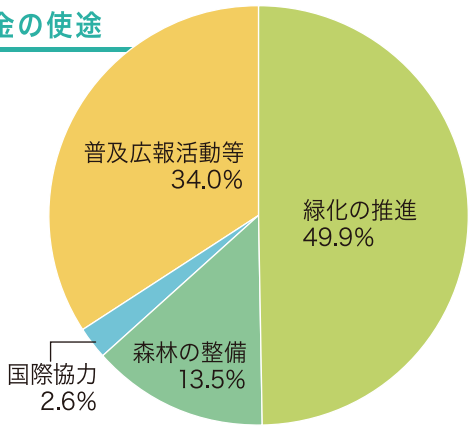
緑の募金 2021年

2021年に皆様から寄せられた緑の募金は、約19億円になりました。
ご協力ありがとうございました。

ご協力いただいた分野



緑の募金の使途



「緑の募金」にご協力をお願いします

春の新緑シーズン（1～5月）と秋の紅葉シーズン（9～10月）を中心に家庭募金・街頭募金・職場募金・企業募金・学校募金などによって行われています。

緑の募金

公益社団法人
国土緑化推進機構
National Land Afforestation Promotion Organization

0120-110-381
ホームページアドレス https://www.green.or.jp/
電子メールアドレス bokin@green.or.jp
詳しくは「緑の募金」ホームページをご覧ください。
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5 階